

平成30年度 日本大学スポーツ科学部個人研究費 研究実績報告書

所属: スポーツ科学部 競技スポーツ学科

資格: 准教授

氏名: 田中 竹史

| 研究課題 | | ことばを通じてヒト科ヒト属の認知能力を探る |
|-------|--|---|
| 報告の概要 | 研究目的 及び 研究概要 | <p>研究目的 本研究では、ヒト科ヒト属に固有の能力である言語能力の発露としての言語の実態を詳細に調べることにより、ヒトの認知能力の理解に貢献することを目的とする。</p> <p>研究概要 英語母語話者の幼児による助動詞要素(特にwant toとwanna)の獲得データから、大人の統語構造に關しどのようなことが理解されるのかをRizzi(1997)に端を発する地図理論を援用し明らかにすることを旨とした。</p> |
| | 研究成果 | <p>・当該要素を獲得中の幼児は、言語以外の認知能力の発達という点での制約から個別の語彙項目に關して獲得に順序が見られること、そしてこれは、機能範疇が出現する発達段階にある幼児が、すでに大人と同様の豊かなIP領域の構造を備えており、その構造の性質と大人と同様には十分に成熟していない言語以外の認知能力の相互作用によるものであることが明らかとなった。</p> |
| 研究業績 | <p>・論文および著書</p> <p>著者名・論文標題・雑誌名・査読の有無・巻・発行年・ページ数</p> | 「なし」 |
| | <p>・学会発表等</p> <p>発表者名・発表標題・学会名・発表年月日・発表場所</p> | 「なし」 |
| | <p>・その他</p> <p>*学会・競技団体報告書など 著書名・標題・掲載誌名 発表年月・発行所 *講演会, 研究会, 研修会, セミナー等での講演発表 発表者・発表年月・題目名・講演会名 *社会貢献活動等</p> | <p>当該年度の研究業績は下記の場合で公にする予定である。</p> <p>①学会発表: 田中竹史"Another Look at <i>Wanna</i>-contraction: Evidence from Language Acquisition", 日本大学英文学会, H31年4月13日、日本大学文理学部</p> |